

# 人工林について学ぼう

## ～子どもの森の健康診断～

こうしやま  
御浜町立神志山小学校  
おろし  
御浜町立尾呂志学園小学校



森のお話



どんな植物が生えているかな？



枝を使って樹高の目測



手ノコを使って間伐体験



みんなで引っ張って倒します



倒した木について調査

ねらい

- ・人工林を手入れしないとどんな危険があるのか、どのように手入れすればよいのかなどについて調査や間伐体験を通して学ぶ。

はじめに、講師から、日本の国土の約 7 割が森林であり、日本は世界で 3 位の「森の国」であることや、間伐の必要性などについてお話を聞いた後、班に分かれて山に入りました。

子どもたちが行った診断の項目は、

- ① 目を閉じて森から何を感じるか？
- ② 植えられている木は何かを調査
- ③ 枯れ木や侵入竹はないかを観察
- ④ 空が見えるか森の天井を観察
- ⑤ 地表に落ち葉や植物がどれだけあるかを観察
- ⑥ 釣竿を使って 100 m<sup>2</sup> の中に何本生えているか本数の測定
- ⑦ 目測で樹高を予想
- ⑧ みんなで協力して伐採を行い、樹高の測定、林齢の確認、伐採後の森の天井の観察
- ⑨ 本数と樹高から森の混みぐあいの診断です。

診断を通して、どのような状態が森にとって良いのか、どうやって手入れをしていくと良いのかを学び、様々な植物に触れたり、木の香りを感じたりしながら楽しく「人工林」について学ぶことができました。

### プログラム概要

内容	森の健康診断
時間	約 3 時間
場所	神志山小学校：学校林 尾呂志学園小学校：学校近くの山林
対象	神志山小学校：4、5、6 年生 20 名 尾呂志学園小学校：5、6 年生 7 名
講師	森の健康診断出前隊
備考	「みえ森と緑の県民税市町交付金」を活用した町事業「森林環境教育事業」